

# 霞ヶ浦北浦におけるハスおよびワタカの繁殖について

加瀬 林 成 夫

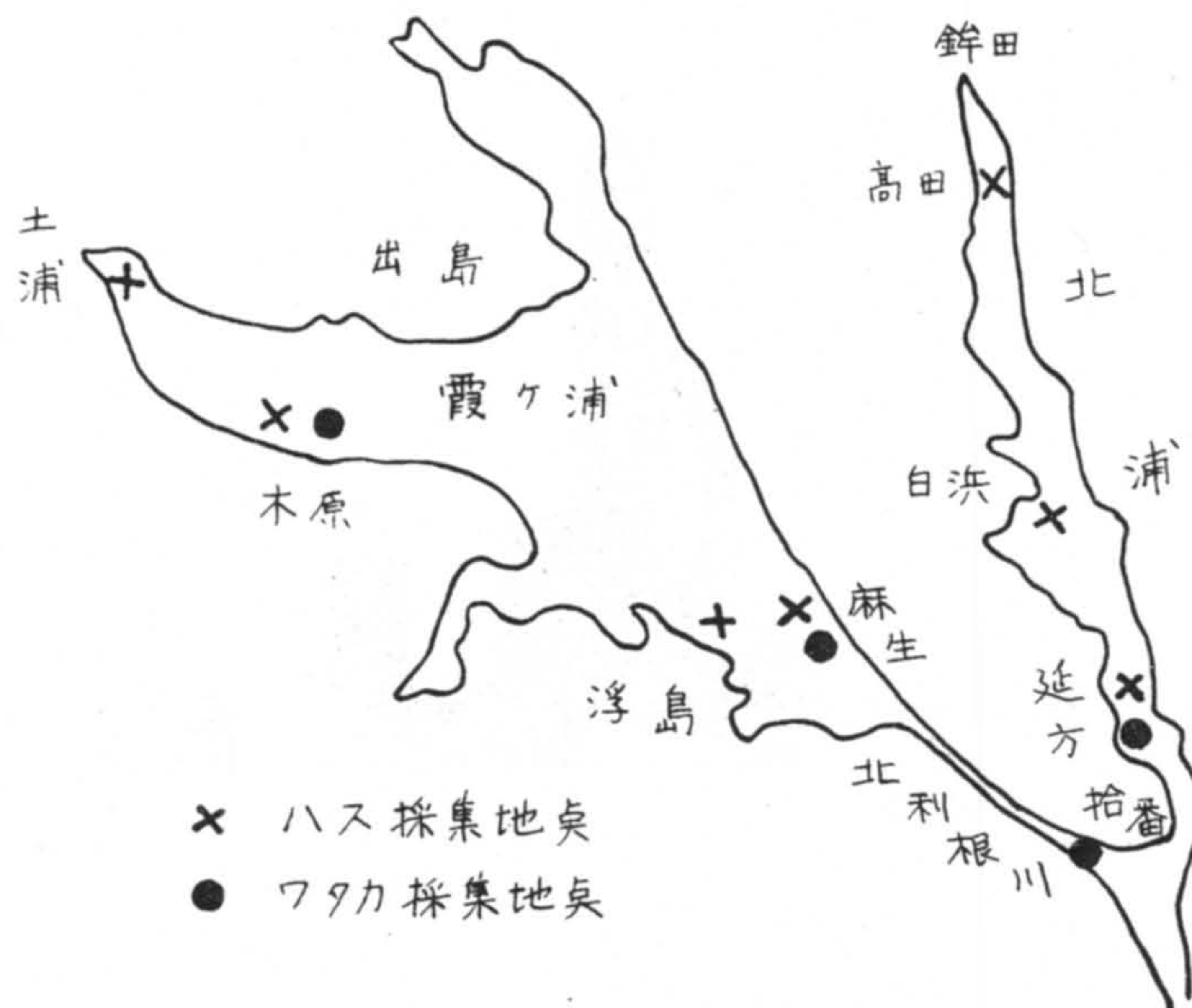
## 1. は し が き

ハス *Opsariichthys uncirostris* (TEMMINCH et SCHLEGEL) は琵琶湖淀川水系、福井県三方湖およびこれに注ぐ河川に分布し、近年は木曾川、長良川、大和川および利根川から記録されており、ワタカ *Ischikauia steenackeri* (SAUVAGE) の天然分布は琵琶湖淀川水系に限られている(中村1963)<sup>(1)</sup>。しかしワタカについては、1954年に埼玉県柴山沼に移殖され、同沼において繁殖していることが報告されている(土屋1956、1958)<sup>(2)(3)</sup>。また近年は利根川下流域における中村ら(1965)<sup>(4)</sup>によるハスおよびワタカ両種の採集記録がみられる。

筆者は霞ヶ浦北浦において、数年前から引き続いて両種を採集しており、これらの魚種が霞ヶ浦北浦において繁殖しているものと思われるので、その状況について報告する。

## 2. 調 査 方 法

最初の分布確認は、別途の魚類採集の折にたまたまハスおよびワタカが採集されたことによるものであるが、その後は、霞ヶ浦では木原、北浦では延方(第1図参照)の張網および網代の漁業者に依頼し、これらの魚種らしきものが漁獲された場合には標本として採集し、ホルマリン漬として保存させることにした。さらに1954年には、別途に行つた北浦の生物相調査と併せて、延方、白浜および高田地先において6月、8月および11月、さらに翌1965年の3月に定期的に網代および張網による採集調査を行つた。また機会のあるごとに、網代、張網および船びき網等の漁獲物を検して両種の混入の有無を調べた。



第 1 図 ハスおよびワタカの採集地点  
- 38 -

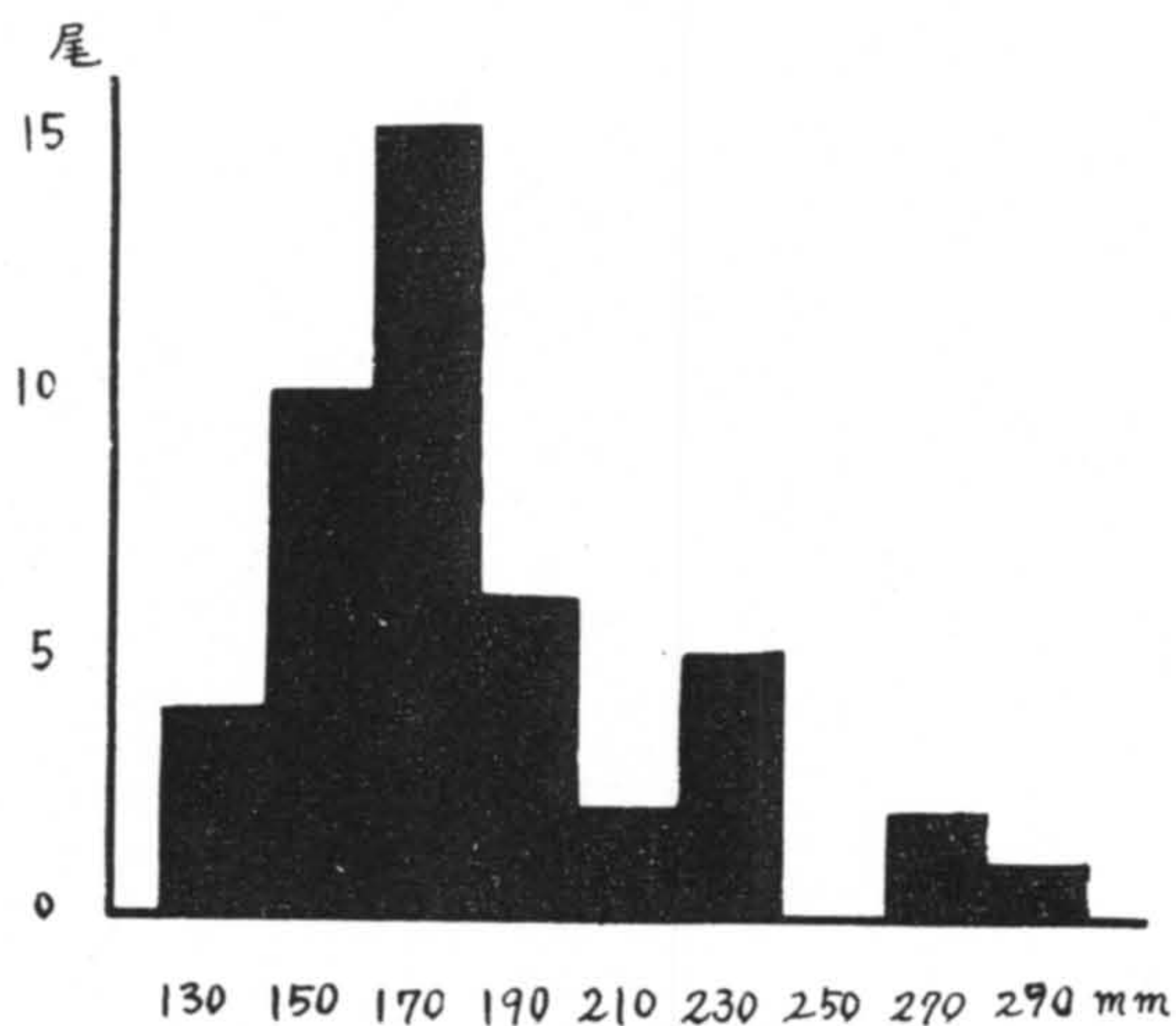
### 3. 結 果

#### (1) ハス

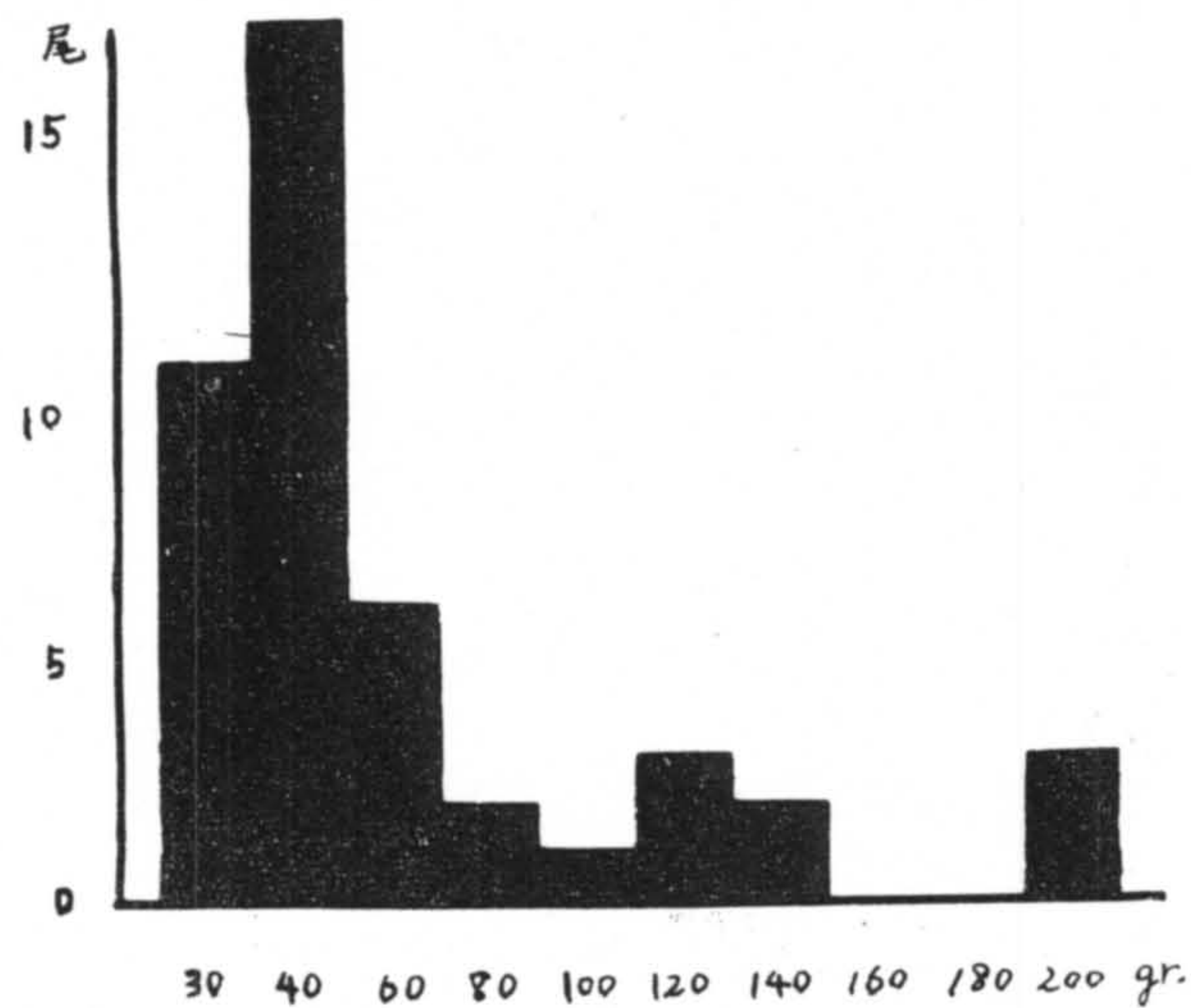
ハスの採集記録は第1表に示したとおりである。筆者が霞ヶ浦北浦においてハスの分布を最初に確認したのは、1962年11月5日に土浦地先における張網によつて漁獲されたものである。その後1966年1月までに、霞ヶ浦では美浦村木原、麻生町麻生および桜川村浮島地先、北浦では潮来町延方、麻生町白浜および鉾田町高田地先において採集されている(第1図参照)。採集魚の大きさは最少形が全長97mm, 体重13.5gr, 最大は全長285mm, 体重210grである。現在までに採集されたハスの全長組成を第2図に、体重組成を第3図に示した。

第1表 ハスの採集記録

年次	月日	場所	漁具	尾数	全長
1962	11. 5	土浦	張網	1	272 mm
"	11. 9	麻生	"	1	224
1963	6. —	木原	"	1	175
1964	5. —	延方	網代	2	170 ~ 241
"	6. 12	"	"	13	159 ~ 196
"	8. 26	"	"	4	146 ~ 231
"	8. 27	"	"	1	97
"	10. 14	白浜	張網	5	130 ~ 147
"	10. 15	延方	網代	5	142 ~ 200
1965	3. 3	"	"	9	146 ~ 236
"	4. 3	"	"	1	156
"	4. —	"	"	3	111 ~ 268
"	10. 12	麻生	船びき網	145	133 ~ 285
1966	1. —	浮島	張網	5	120 ~ 205



第2図 ハスの全長組成



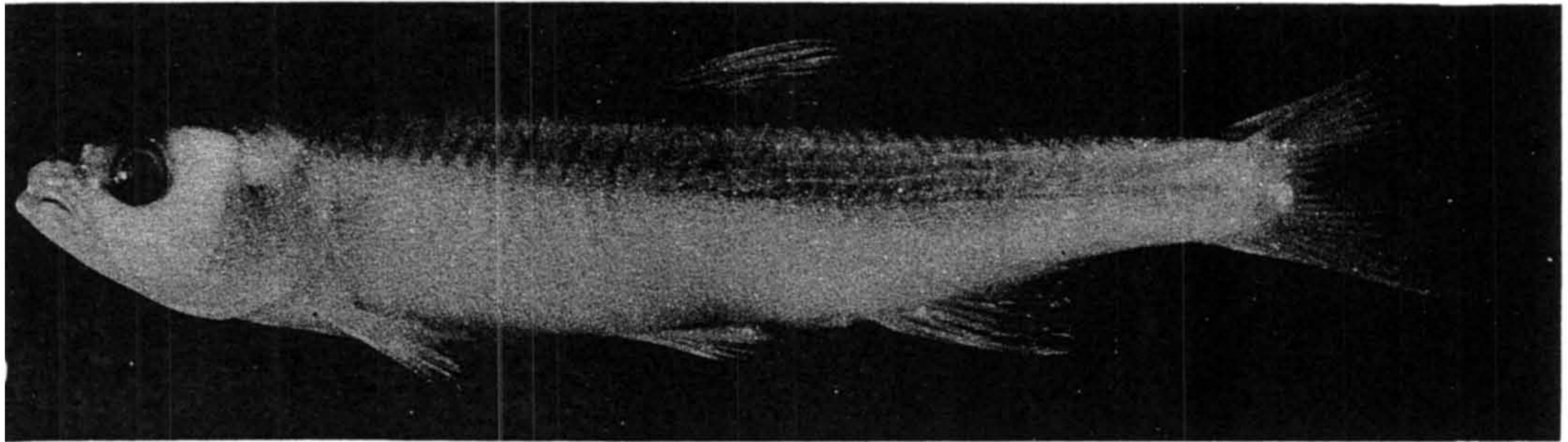
第 3 図 ハスの体重組成

(2) ワタカ

ワタカの採集記録は第2表に示したとおりである。最初にその分布を確認したのはハスよりも2年ほど早く、1960年10月30日に麻生町麻生地先における網代によつて漁獲されたものである。その後霞ヶ浦では前記の麻生および美浦村木原地先において、北浦では潮来町延方地点、さらに北利根川の潮来町拾番地先において採集されている。採集魚の大きさは最少で全長128mm、最大では238mmである。

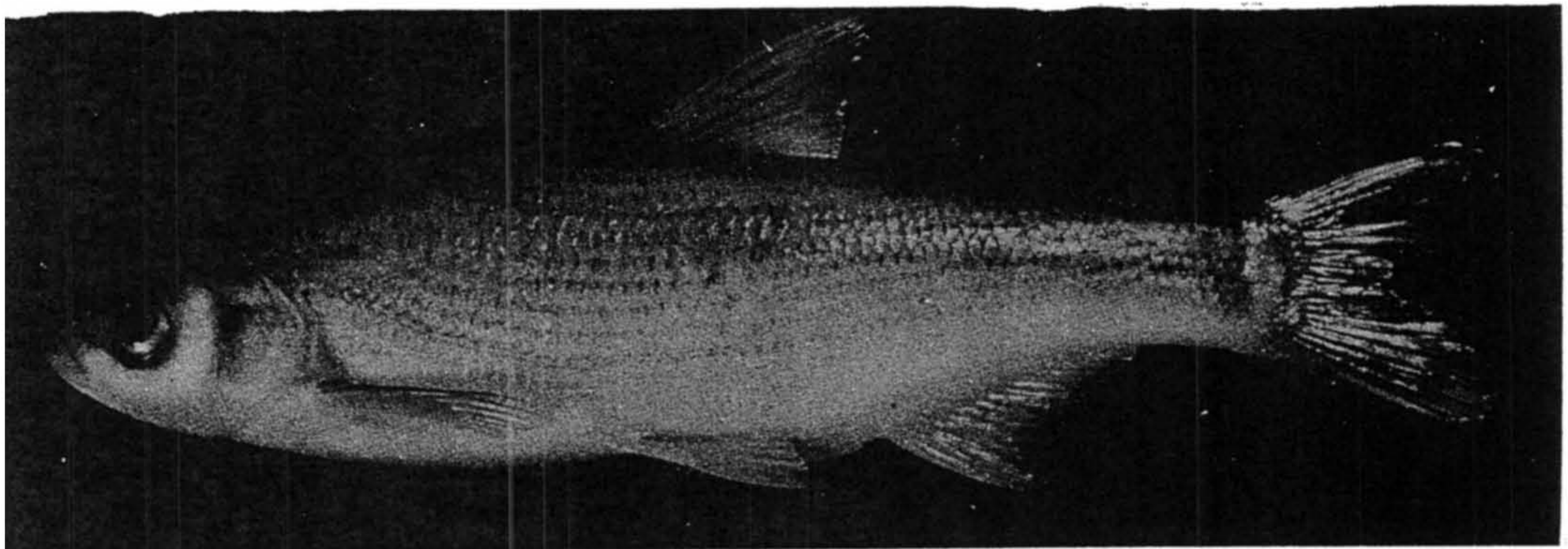
第2表 ワタカの採集記録

年次	月日	場所	漁具	尾数	全長
1960	10. 30	麻生	網代	2	128 ~ 153 mm
1962	1. 17	拾番	張網	1	246
"	3. 25	延方	網代	2	163 ~ 174
1963	4. -	麻生	"	1	238
"	11. -	木原	張網	1	192
"	12. -	延方	網代	1	202
1964	10. 15	"	"	1	150
1965	11. -	"	"	1	199



ハス 全長 111.5 mm

1965年4月 潮来町延方地先北浦の網代にて採集



ワタカ 全長 199.5 mm

1965年11月 潮来町延方地先北浦の網代にて採集

#### 4. 考 察

ハスおよびワタカの霞ヶ浦北浦への移殖放流は全く行つた記録がないので、これらの魚は利根川を経て両湖に入つてきたものと思われる。しかし利根川における両種の移殖はとくに計画的に行つた記録は見当らず、さきに述べたように埼玉県柴山沼にワタカが移殖された例はあるが、同沼は利根川との連絡はないといわれる（埼玉水試前田増殖課長）。従つて繁殖の経路としては利根川上流域等における琵琶湖産アユの放流に際して、ハスおよびワタカが混入していたことによるものと考えられる。

本稿には 示した採集記録は、筆者が魚種を確認して標本を採集したものであり、採集地点も限られていたためにあまり多くの数を集めることができなかつた。しかし聞き取り調査によると、

1965年の春あたりから霞ヶ浦の南東部および北浦の南部を中心にしてハスの漁獲がとくに多くなり、張網業者1人当り1日に1~5尾程度の混獲がみられるようになったという。また第1表にみられるように、麻生の船びき網では1統当り100尾以上のハスが漁獲された例もあり（連日はないがこのように時々まとまつた漁獲がみられるといわれる）、霞ヶ浦北浦全域では相当数の漁獲があるものと思われる。ハスに比してワタカは比較的少数であるが、引き続いて漁獲がみられることはハスの場合と同じである。以上のことから、両種とも湖内において繁殖しているものと考えることができる。

#### 参 考 文 献

- (1) 中村守純(1963): 原色淡水魚類検索図鑑(北陸館)。
- (2) 土屋 実(1956): 琵琶湖産ワタカ *Ischikauia steenackeri* (SAUVGE) の移殖について。埼玉県水産指導所業務報告第5号。
- (3) (1958): 柴山沼におけるワタカ *Ischikauia steenackeri* (SAUVGE) の繁殖について。同上 第8号。
- (4) 資源科学研究所(1965): 利根川水系水産動物調査報告。(昭和38.39年度)。